

平成 26 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 日本フォームサービス株式会社  
 代表者の役職名 取締役社長 山下 岳 英  
 (JASDAQコード番号 7869)  
 問い合わせ先 総務部長代理 小坂 嘉彦  
 TEL 03-3636-0011

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 11 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ● 業績予想の修正について

平成 26 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,222	181	211	120	30.11
今回修正予想 (B)	3,606	127	152	85	21.58
増減額 (B-A)	△615	△53	△58	△34	
増減率 (%)	△14.6	△29.5	△27.9	△28.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 9 月期)	4,243	160	203	113	28.58

平成 26 年 9 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,222	206	118	29.61
今回修正予想 (B)	3,574	154	93	23.35
増減額 (B-A)	△647	△51	△24	
増減率 (%)	△15.3	△25.0	△21.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 9 月期)	4,247	190	107	26.99

#### 修正の理由

連結業績予想の売上高につきましては、函物及び機械設備関連事業において、19インチラック、アーム関連製品ならびにデジタルサイネージ関連については堅調に売上を確保することができておりますが、再生エネルギー関連製品における大口案件の工事着工順延等の影響により、売上高の確保にはいたらず、当初予定を下回る見込みとなりました。

売上高が減少したことから、利益率の高いラック関連製品やアーム関連製品の拡販をすすめることで売上総利益は確保できたものの、介護事業部において現サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規獲得や設備投資を行った結果、当初予想より経常損失が増加したことにより、函物及び機械設備関連事業における利益でカバーしきれず、営業利益、経常利益については当初予想を下回る結果となりました。当期純利益につきましては、土地売却による固定資産売却益を計上する一方、固定資産売却による損失の計上および圧縮による法人税等調整額の計上を行ったことから、当初予想を下回る見込みとなりました。

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由により、売上高、経常利益並びに当期純利益については当初予想を下回る結果となりました。

(注) 上記の予想につきましては、あくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上